

## 実証概要

### 設定した解決したい課題

- ・ 県内4か所ある施設それぞれのホームページで犬や猫の保護状況を発信しており飼い主はそれぞれの情報を見る必要がある
- ・ 譲渡希望者に実施する講習会の申込みが平日の電話受付のみとなっており、申込みがしにくい
- ・ 業務での移動時間が多いので効率的に作業を実施したい
- ・ システムは今後も機能拡充していきたいが、職員はDXの経験が少ない

### 解決の方向性（実証事業者との協議結果）

- ・ 県内4か所のデータを統合したデータベースを構築する
- ・ 保護犬・猫を容易に検索できるアプリを構築する
- ・ 譲渡希望者に実施する講習会の申し込みをアプリから予約可能にする
- ・ タブレットから情報入力可能なインターフェースとする
- ・ ノーコードスキルコーチングを提供し、職員で開発スキルを習得する

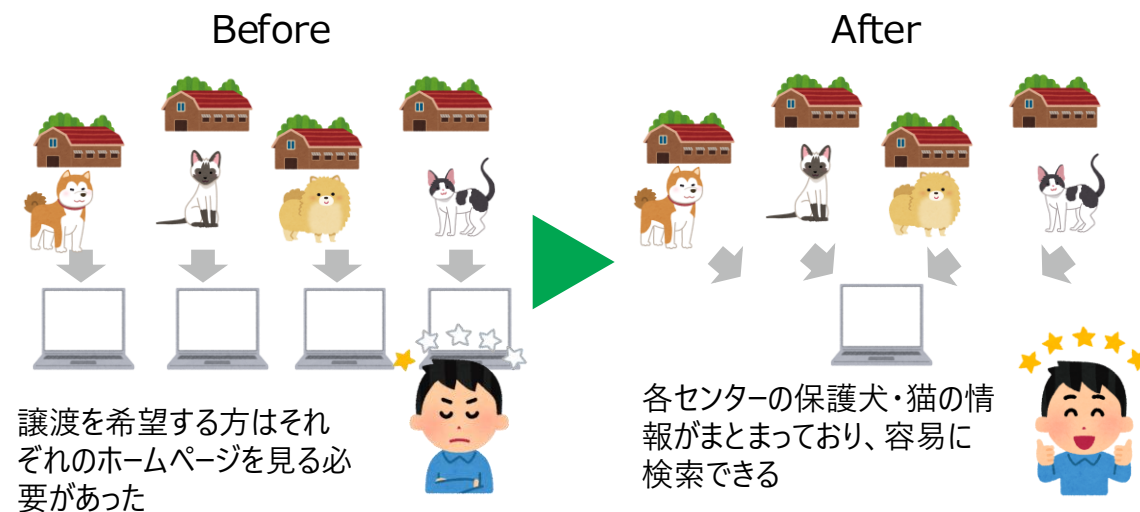
#### <検証項目・KPI>

- |                        |          |             |
|------------------------|----------|-------------|
| ・ KPI①：Webページ掲載作業時間の短縮 | 現状：71.8分 | 目標：35.9分    |
| ・ KPI②：作成アプリの操作しやすさ    | 現状：未計測   | 目標：5段階のうち4点 |
| ・ KPI③：職員のDXスキル向上      | 現状：未計測   | 目標：レベルB     |

### 試行運用の概要

<方法> 2025年10月3日／4日／26日開催のイベント及び、動物愛護センターで実施する譲渡講習会にて、構築済のアプリ使用感について潜在ユーザーにアンケート実施

<期間> 2025年10月～11月



## 工夫したポイント

- ✓ ポイント①：多忙な動物愛護センターの方が極力手間を省いてデータ入力できるよう、項目によっては選択肢式にするなど情報入力作業負担を下げた
- ✓ ポイント②：今回コーチングによりBubbleのスキルを身につけた職員でも後日改修できるよう、出来るだけ簡素な設計にした

## 実証実験の評価及びKPIの結果

- ✓ 実証開始時に設定したKPI3項目を全て達成することができた
- ✓ 試行運用として行ったイベント時のアンケートにおいて、操作のしやすさなどで高い評価を得ることができた

### <検証項目・KPIに関する結果>

• KPI①：Webページ掲載作業時間の短縮	目標：35.9分	結果：23.9分
• KPI②：作成アプリの操作しやすさ	目標：5段階のうち4点	結果：4.48
• KPI③：職員のDXスキル向上	目標：レベルB	結果：レベルB+

## 導入に向けての課題と解決策

- ✓ 課題：システム開発に活用したノーコードツールBubbleではデータ容量に制限があり、一定のデータ保存量以上になる場合データ削除しなければならない
- ✓ 解決策①：Bubbleサーバーには一時的にデータを保存、その後データを定期的に愛知県内のエクセル等へ書き出し保存する
- ✓ 解決策②：構築したシステムのデータ保存先を愛知県内のエクセル等にし、Bubbleサーバーにはデータを保存しない

